

科名 呼吸器内科

対象疾患名 非小細胞肺癌

プロトコール名 オブジーボ+ヤーボイ+PTX+CBDCA

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	22	...	29	...	42
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓				↓				
2	点滴注	側管	オブジーボ	360mg	30分かけて	↓				↓				
			生食	100mL	投与前後生食フラッシュ									
毎回ルートキープにて30分休薬														
3	点滴注	側管	ヤーボイ	1mg/kg	30分かけて	↓								
			生食	30mL	投与前後生食フラッシュ オブジーボ投与後30分休薬後投与									
4	点滴注	側管	パロノセトロン	0.75mg	30分かけて	↓				↓				
			アロカリス	235mg										
			デキサート	19.8mg										
			ファモチジン	20mg										
5	点滴注	側管	ネオレストール	10mg	30分かけて	↓				↓				
			生食	50mL										
6	点滴注	側管	パクリタキセル	200mg/m ²	180分かけて	↓				↓				
			生食	500mL										
7	点滴注	側管	カルボプラチン	AUC6	60分かけて	↓				↓				
			生食	250mL										

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

1コース施行後オブジーボ+ヤーボイへ併用療法へ

<オブジーボ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチンとの併用により本剤のT細胞活性化作用による過度の免疫反応が

起こる恐れがあるので併用には注意すること。

<ヤーボイ>

オブジーボ投与後ルートキープにて30分休薬後投与開始

オブジーボとの併用において下垂体炎、下痢、大腸炎、副腎不全の頻度が高くなるとの報告があるため特に注意すること。

<パクリタキセル>

禁忌:薬剤アレルギーの既往の多い症例,アルコール含有,アルコールアレルギーの確認要

アレルギー好発時期:初回,2回目(投与開始から10分間はベッドサイトを離れない)

PVCフリーかつフィルター付き(回路名:JY-PF340P52)を使用

<カルボプラチン>

投与量計算:AUC6=6x(Ccr+25)

アレルギー好発時期:8回目以降